



## 保健科学プログラム（博士課程前期） / （博士課程後期）

竹本 俊伸

医系科学研究科 総合健康科学専攻 保健科学プログラム長  
医系科学研究科 口腔保健管理学 教授

高齢者の健康増進は社会的に喫緊の課題となり、その結果、介護施設、地域に密着した在宅等での高齢者ケアにおける看護師、理学療法士、作業療法士に対するニーズは急速に高まり、より高度で総合的かつ専門的な知識と実践が求められています。また、超高齢社会においては、オーラルフレイルティから低栄養に陥ることによる日常生活動作（ADL）の低下や口腔微生物の誤嚥による肺炎など、口腔と全身との関連が認識され、口腔ケアが全身ケアに必須な要素になっていますが、口腔ケアと全身ケアを総合的に研究あるいは教育する環境は不十分な状況です。そこで、従来の学問・研究分野を超えた連携・融合と基盤的研究の深化を図り、高度なチーム医療を担うことができる高度専門医療人の育成を目的として、博士課程前期・後期にわたって、既存の2専攻（保健学専攻・口腔健康科学専攻）を統合し、これまで全国的にも数少ない「保健科学プログラム」を設置しました。本プログラムは、保健学領域（看護学、理学療法学、作業療法学）、口腔健康科学領域（口腔保健学、口腔工学）からなっています。各領域の教員が協力し、幅広い教育体制を構築することにより、総合的かつ斬新な全身ケア・口腔ケアに関する高度かつ時代に対応した教育・研究が可能となり、各領域ごとに有している海外などの協定校や共同研究施設からの海外留学生の増加や、本学からの大学院生の留学、大学院生・教員間の交流・研究が拡大・加速することが期待されます。



## 薬科学プログラム（博士課程前期） / （博士課程後期）

小池 透

医系科学研究科 総合健康科学専攻 薬科学プログラム長  
医系科学研究科 医薬分子機能科学 教授

急速な国民の高齢化、生活習慣や生活環境の変化は、我が国における疾病構造に大きな影響を与えています。それに伴う医療に対する社会的要請として、がん、痴呆、生活習慣病などの高齢者に多い疾病の克服のため、高度先進医療の普及が叫ばれています。さらに、医師、薬剤師、看護師などの医療従事者が、相互に連携しつつそれぞれの専門性を発揮するチーム医療のさらなる推進も求められています。

高度先進医療において、高品質で有効・安全な新規医薬品の開発は不可欠です。近年の生命科学分野における研究の発展により、医療技術は、飛躍的に進歩しており、遺伝子工学に基づく再生医療や各人の特性に応じたカスタムメイド治療が行われるようになってきました。一方、医薬品創製に関わる学問分野のグローバル化が急速に進み、世界で活躍する創薬研究者の養成が強く求められています。新規医薬品の創製に携わる人材にとって、最新の生命科学技術を駆使した創薬、ドラッグデリバリー技術、バイオイメージング技術、ドラッグリポジショニング、核酸医薬や抗体医薬などのバイオ医薬品、臨床診断薬、創薬標的生体分子などについて学ぶことは不可欠です。

薬科学プログラムは、我が国における医薬品創製を实践・先導するために必要な研究能力とともに国際的な展開力を身に付けるための教育プログラムとなっており、創薬研究を中心とした分野において指導的立場となる人材の育成を目的としています。